



# MAZDA SUSTAINABLE BOND

## マツダ サステナブル ボンド

企業理念

前向きに今日を生きる人の輪を広げる

マツダ株式会社 第35回無担保社債 (社債間限定同順位特約付)

発行額

350億円

期間

7年

利率 (※税引前)

年1.55% ~ 2.15% (仮条件)

発行価格	各社債の金額100円につき100円
申込単位	10万円単位
条件決定日	2025年2月28日 (金)
申込期間	2025年3月3日(月)~3月14日(金)
払込日	2025年3月17日 (月)
利払日	年2回 (毎年3月17日・9月17日)
償還日	2032年3月17日 (水)
取得格付	A- (JCR) ※取得予定

### ご投資にあたっての注意事項 (主なリスク等)

- 本債券をご購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。
- 本債券の価格は、金利の変動等により上下しますので、償還前に売却する場合には損失が生じることがあります。
- 発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じることがあります。
- お申込みにあたっては、裏面の取扱証券会社にて、目論見書及び契約締結前交付書面をお渡しますので、必ず内容をご確認ください。
- 販売額に制限がございますので、売切れの際はご容赦ください。
- 本債券は、国際資本市場協会 (ICMA) の原則、ガイドライン等に適合したマツダ株式会社の「サステナブル・ファイナンス・フレームワーク」に基づいた発行となります。調達資金をグリーン/トランジション適格事業及びソーシャル適格事業に充当する予定のトランジション/ソーシャルボンドであり、サステナビリティボンドではありません。



# 時代に適応した「走る喜び」で、お客さまの「生きる喜び」を創造し、サステナブルな社会の実現に貢献します

時代が変わり、人々の生活や価値観が変わっても、「動くことへの感動」は変わらないと信じています。

マツダはカーボンニュートラルの実現や安全・安心なクルマ社会の実現によるサステナブルなクルマ社会に貢献しながら、時代に適合した「走る喜び」を提供し続けていきます。ものづくりにおいて、ひとを中心に置き、ひとの欲求や感情を見つめ、「動くことへの感動」が「いきいきとする体験」につながるようなクルマを造っていきます。

## 時代に適応した「走る喜び」

### ロータリーエンジンの実用化



三輪トラック「マツダ号」



コスモスポーツ



ロードスター



CX-5

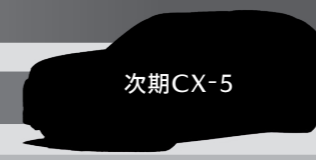
### 次世代技術「SKYACTIV」を搭載

### プラグインハイブリッド



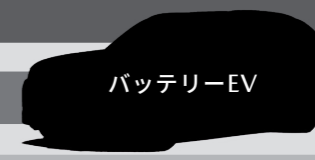
CX-80

### マツダ製ハイブリッドシステム



次期CX-5

### バッテリーEV専用プラットフォーム



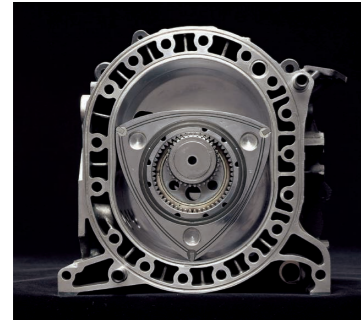
バッテリーEV

魂動デザイン

人馬一体感の追求

飽くなき挑戦

## マツダのクルマづくり



### 飽くなき挑戦

誰もが不可能と呼んだロータリーエンジンの実用化。マツダは一切妥協することなく、あらゆる可能性に挑戦しながら、その道を切り拓いてきました。

常識をくつがえす未知への挑戦。その精神は今でもマツダに根付いています。



### 人馬一体感の追求

まるで自分の体の一部のように動かせる、ドライバーの意思とクルマの動きの一体感。

そこにある安全・安心な走りこそ、マツダの目指す“人馬一体”です。



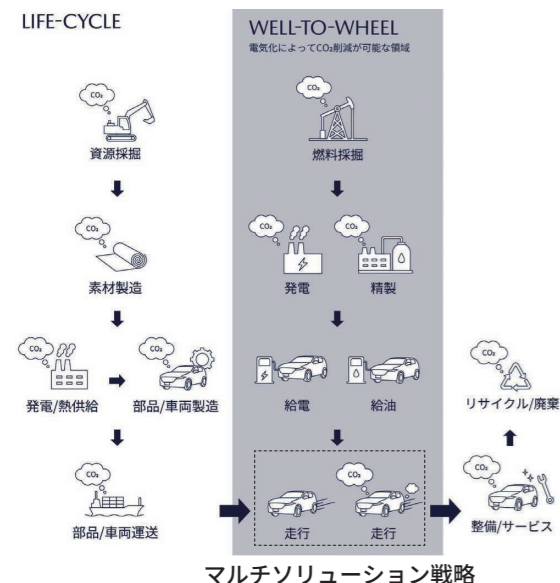
### 魂動デザイン

クルマを単なる鉄の塊ではなく、「命あるもの」だと考えています。

ドライバーとクルマの関係を、まるで愛馬と心を通わせるかのように、エモーショナルなものにするために追い求め続けた形が「魂動デザイン」です。

## 環境への取り組み —カーボンニュートラルへの挑戦—

マツダは、クルマのライフサイクル全体でCO<sub>2</sub>排出量削減に取り組む重要性を踏まえて、Well-to-Wheel（燃料採掘から車両走行まで）とライフサイクルアセスメントの視点を持ちながら、マルチソリューションのアプローチによって、CO<sub>2</sub>削減に貢献していきます。



## マルチソリューション戦略

各地域や国のエネルギー政策や発電構成に応じたパワーユニットを適材適所にお届けする「マルチソリューション戦略」のアプローチを採用しています。



## 安全・安心なクルマ社会への取り組み —安全思想「MAZDA PROACTIVE SAFETY」—

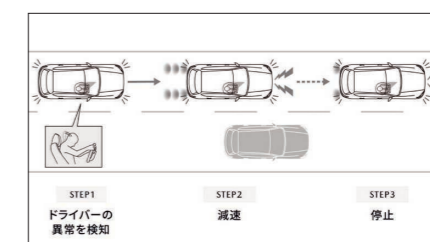
さまざまな環境で、ドライバーの認知・判断・操作をサポートし、事故のリスクを最小限に抑えます。2040年を目途に自動車技術で対策が可能なものについては、自社の新車が原因となる死亡事故ゼロを目指し、安全・安心なクルマづくりをすすめています。

## 「ビルディングブロック構想」

基本安全技術をベースに、先進安全技術、高度運転支援技術を積み重ね、効率的に安全性能の向上を目指します。

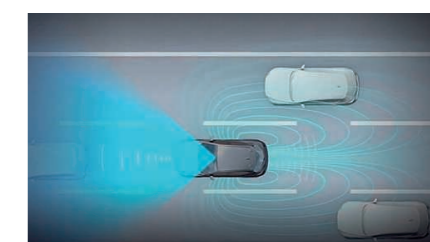


## 高度運転支援技術「MAZDA CO-PILOT CONCEPT」



ドライバーの異常を検知すると、車両を減速・停止させ、衝突の回避や被害軽減を図ります。

## 先進安全技術「i-ACTIVSENSE」



センサーやカメラで、ドライバーに危険を気付かせ、安全運転をサポートします。

## お客さまとのつながりづくり

### ■ ブランド体験の強化

黒と木目調を基調にした新世代店舗導入による販売網改革と「おもてなしの心」による試乗や納車・車点検を通じて、最高のマツダ体験をお届けします。



### ■ 幅広いお客さまとのつながりづくり

「いきいきとした体験」を提供することで、ディーラー店舗以外のタッチポイントでも心理的距離の近いコミュニケーションを広げていきたいと考えています。



## 資金使途例

### グリーン/トランジション適格事業



バッテリーEV (BEV) の開発・生産



マルチソリューション (PHEV/HEV等)によるCO<sub>2</sub>排出量の削減



工場内発電の脱炭素化/再生可能エネルギーの調達



自動車製造工程におけるエネルギー効率の改善



先進安全技術/高度運転支援技術

### ソーシャル適格事業

※BEV：バッテリー式電気自動車、PHEV：プラグインハイブリッド車、HEV：ハイブリッド車

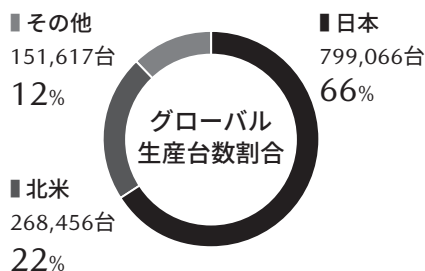
## 財務実績 (2024年3月期)

売上高  
**48,277** 億円

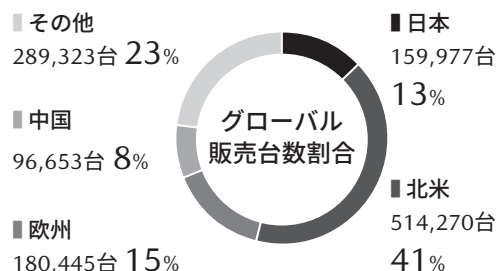
営業利益  
**2,505** 億円

親会社株主に帰属する当期純利益  
**2,077** 億円

グローバル  
生産台数 | **1,219,139** 台



グローバル  
販売台数 | **1,240,668** 台



## 取扱証券会社

取扱証券会社 (金融商品取引業者)	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人第二種 金融商品取引業協会
SMBC日興証券株式会社	関東財務局長 (金商) 第2251号	●	●	●	●
野村證券株式会社	関東財務局長 (金商) 第142号	●	●	●	●
みずほ証券株式会社	関東財務局長 (金商) 第94号	●	●	●	●
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	関東財務局長 (金商) 第2336号	●	●	●	●